

令和4年度 市場公募地方債IR資料〈本編〉

山梨県

<https://www.pref.yamanashi.jp/>

1. やまなしの展望

特色あるやまなし

- ・ 山梨県の概要 4
- ・ 世界文化遺産富士山 5
- ・ フルーツ王国やまなし 6
- ・ 県産果実の輸出拡大 7
- ・ 美酒美県やまなし 8

高付加価値化するやまなし

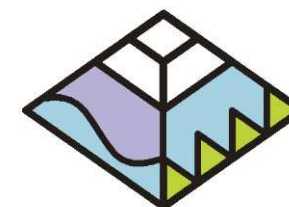
- ・ 4パーミル・イニシアチブ 15
- ・ メディカル・デバイス・コリドー推進計画 16
- ・ 水素・燃料電池に関する取り組み 17

近くなるやまなし

- ・ 中部横断自動車道の全線開通 10
- ・ リニア中央新幹線 11
- ・ リニアやまなしビジョンの推進 12
- ・ 手厚い企業立地支援 13

新型コロナウイルス対策の3つの柱

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策 19
- ・ 山梨県感染症対策センター(山梨県CDC) 20
- ・ やまなしグリーン・ゾーン構想 21



YAMANASHI



特色あるやまなし

山梨県の概要



日本列島のほぼ中央に位置しており、周囲を富士山、南アルプス、八ヶ岳連峰などに囲まれた自然豊かな内陸県

県土の約8割が森林、約3割が自然公園（秩父多摩甲斐国立公園、富士箱根伊豆国立公園）

山梨へのアクセス（自動車使用）



- 人口：805,338人（令和3年10月1日現在）
- 面積：4,465.27km²
- 可住地面積1km²あたりの人口：849.8人/km²

世界文化遺産富士山

— 平成25年6月22日、
富士山が世界文化遺産に登録決定 —



富士山を守る山梨県の取組

富士山保全協力金制度やマイカー規制、富士山レンジャーによる登山指導や環境教育、世界遺産ガイドの育成など、富士山保全に向けた取組を実施しています。

これに加えて、「withコロナ時代の新しい富士登山マナー」の策定や、五合目での体調確認、検温の実施など、様々な感染症対策を取り入れています。

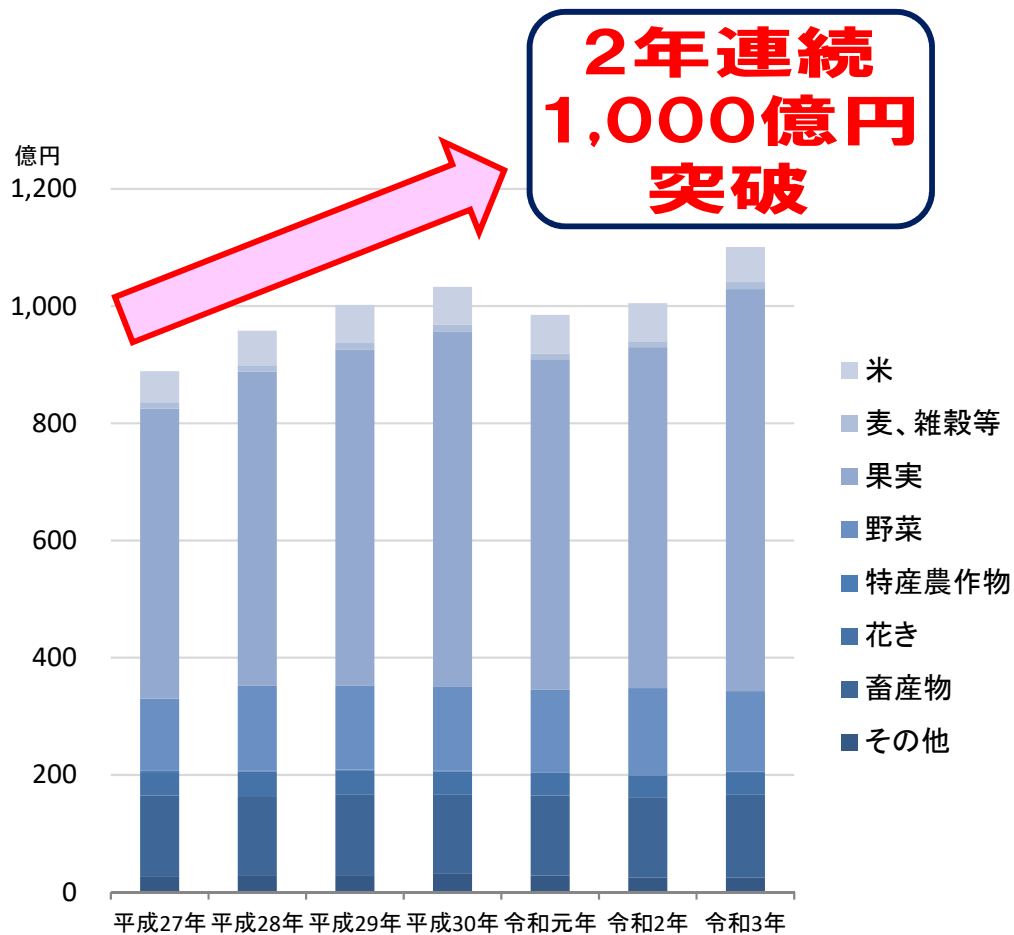


富士山五合目総合管理センター前での
体調確認及び検温の実施

フルーツ王国やまなし

- 山梨県はぶどう・もも・すももの収穫量が日本一
- 農産物の高品質化・ブランド力の強化による農業生産額の向上を目指す。

● 農業生産額の推移



山梨県農政部調べ

峡東地域の果樹農業が

世界農業遺産 に認定



山梨県の農畜水産物ブランド

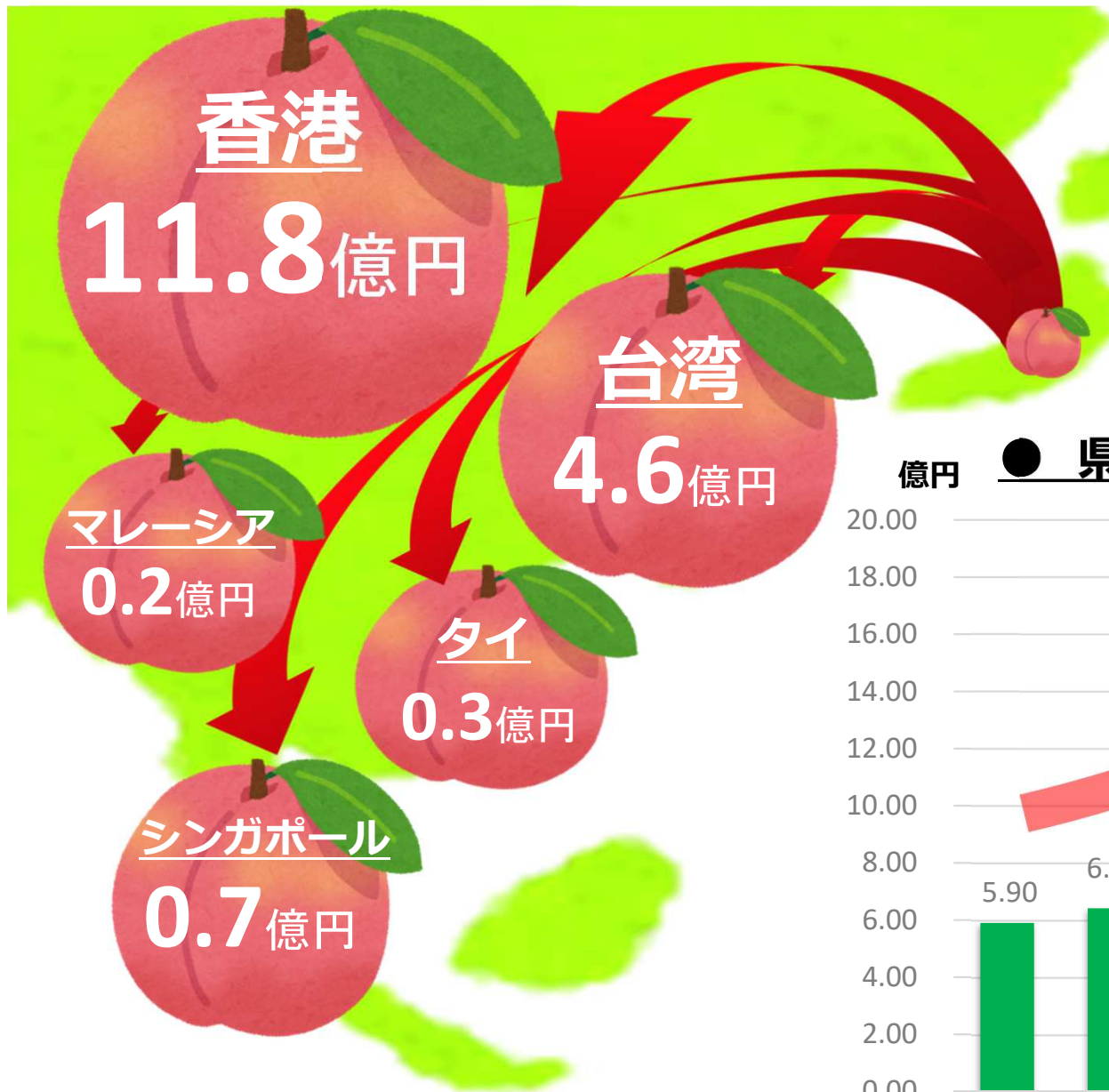
- 品質の高い農畜水産物づくり
- 食の安全安心やSDGsに貢献

おいしい未来へ
やまなし

⇒ おいしさの先を行くブランドを形成

県産果実の輸出拡大

日本を代表するやまなしの果物を海外にも届けています。



◎ 検疫条件が設定され次第、**中国・ベトナム**へも輸出予定！

2年連続の
10億円突破

● 県産果実輸出額の推移



美酒美県やまなし

美酒美県 やまなし



美味しいお酒は美しい県から生まれる。

GI「山梨」：2013年に全国で初めてワインで指定。

2021年4月に日本酒でも指定され、全国で初めて、同じ県から2つの酒類でGIが誕生。

酒類の地理的表示（GI）：地域の気候や風土、伝統的な製法などを生かして、品質にこだわって生産に取り組んでいる産地を国が指定する制度。



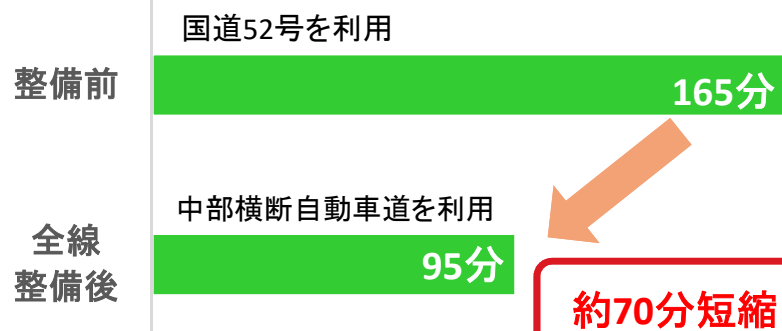
近くなるやまなし

山梨県立
リニア見学センター
2016年 8月 4日

中部横断自動車道(山梨～静岡間)の全線開通



【山梨県庁～静岡県庁の所要時間】



国土交通省記者発表資料をもとに作成



R3.8.29 山梨～静岡間 全線開通

リニア中央新幹線

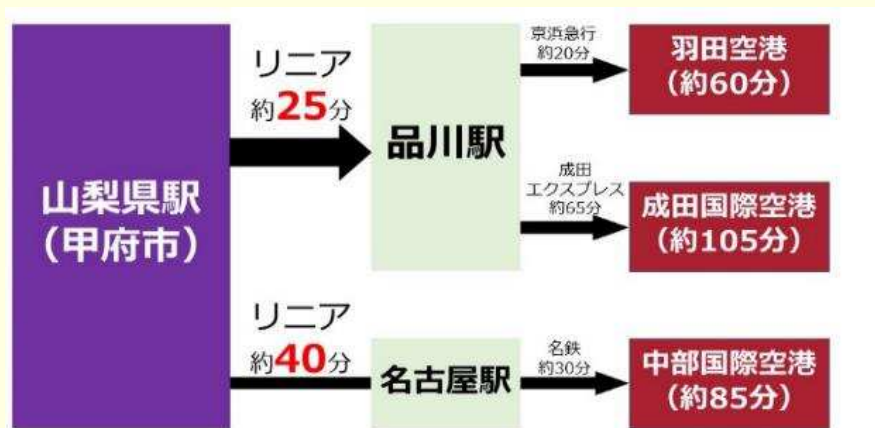


○東京から25分圏都市（リニア開通後）



リニア開通後

○空港へのアクセス



※ 各駅停車の場合。乗り換え時間を含む。

○各都市との地価比較

住宅地平均価格(令和4年1月1日現在) (単位:円/㎡)

都市	地価
埼玉県さいたま市	210,500
千葉県船橋市	155,800
千葉県松戸市	137,900
東京都国分寺市	290,800
神奈川県横浜市	234,100
山梨県甲府市	44,400

国土交通省「令和4年地価公示」より。

⇒企業立地・移住先として魅力的

実証実験サポート事業の概要

- スタートアップ企業等が本県をフィールドに実施する最先端技術に関する実証実験をサポートする取り組み
補助率：3/4 1社当たり上限750万円

【事業の特徴】

資金面の支援にとどまらず、
実証フィールドの斡旋、
ステークホルダーとの調整など、
ハンズオンで企業に寄り添い支援

➡ サポートを受けた企業から高い評価

【第1期、第2期のエントリー等の状況】

	第1期	第2期
エントリー	43社	37社
採択数	8社	6社
実証期間	R3.9~R4.2	R4.4~R4.9

今後の取り組み

- ・本年度募集分から補助金枠を1.5倍に拡充
⇒ 更に多くのスタートアップを本県に呼び込み
- ・社会的意義の大きいプロジェクトへの支援を充実
⇒ 県の施策として取り上げ
初期需要創出のため優先調達 等

第1期プロジェクト(例)

■ 過疎地域での新たな物流システムの構築 ■

小菅村

少子高齢化

商店減少

買い物難民

物流クライシス



【新スマート物流】

- ・ドローン配送
- ・貨客混載
- ・共同配送 等

【県】

- ・部局横断PT設置
→ 全面的支援

いち早い社会実装へ！

- ・人々の生活の質の向上
- ・プロジェクトの県内定着
- ・常に新しいチャレンジが
生まれている地・山梨のブランド確立

手厚い企業立地支援

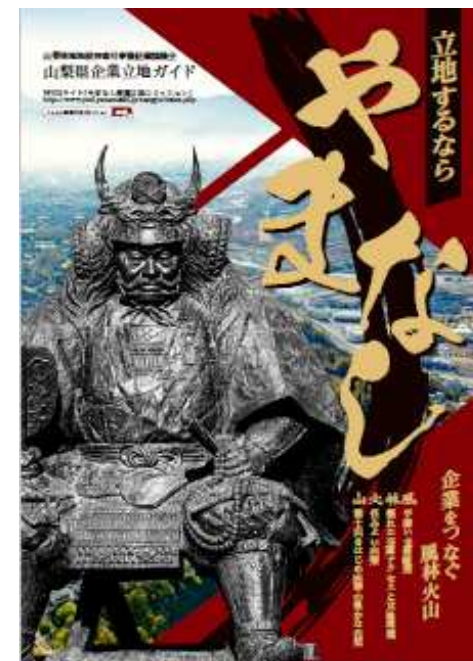
産業集積促進助成金

最大助成率15%！最大15億円の助成！

- 対象要件
 - ・投下固定資産額(土地取得費を除く)が3億円以上
 - ・操業1年以内に従業員5~10人以上増加
 - ・製造業、物流施設、情報産業、オフィス設置事業等
 - ・親会社が所有し、子会社が操業する場合も可
- 助成金額
 - ・投下固定資産額の2.5%~15% 限度額最大15億円
 - ・賃借料の1/2 限度額最大3,000万円
 - (対象要件、助成金額は事業内容により異なります。)

産業集積促進助成金については、令和2年度より、助成率及び助成限度額の上限を大幅に引き上げました。

また、県外からの小規模オフィスの移転等を支援するメニューを追加しました。



本社機能の移転等に対する優遇措置

国税・地方税を減免！

- 国税
 - ・オフィス減税: 設備投資額に対して法人税の特別償却又は税額控除
 - ・雇用促進税制: 雇用増加数に応じ法人税を税額控除
- 県税
 - ・不動産取得税、事業税(移転型のみ)等 課税免除 又は 本来税率の1/20
- 市町村税
 - ・固定資産税(税率は市町村により異なります)

やまなしパワーNEXT

クリーンエネルギーを安価に供給！

- 立地企業に安価な電力を供給
 - ①対象契約電力: 高圧受電、又は特別高圧受電
 - ②対象業種: 要件を満たす県内への進出企業や経営拡大企業
 - ③割引率: 電力量料金単価を10%低減
 - ④募集期間: 令和5年2月28日まで(計画供給量に達したところで終了)
 - ⑤電力供給期間: 供給開始から令和6年3月まで

環境価値メニュー「ふるさと水カプラン」

- CO2フリーの電気を供給(1kWhあたり1.02円加算(令和4~5年度)) 13

■出荷額が全国1位の主な産業(令和元年)

品目	出荷額(百万円)	全国シェア(%)
数値制御ロボット	240,214	74.3
ミネラルウォーター	68,183	38.2
巻上機	24,030	26.4

資料: 工業統計調査



高付加価値化する やまなし



4パーミル・イニシアチブ

「4パーミル・イニシアチブ」に取り組む生産者が生産した農産物を県が認証し、付加価値の向上により農業所得の向上を図ります。

4パーミル・イニシアチブ
農産物等認証制度



- ・脱炭素社会の実現に貢献
- ・農産物の高付加価値化

果樹園における4パーミル・イニシアチブ

果樹園内で剪定枝を炭化・貯留して
温暖化の抑制に寄与する



果樹の枝は光合成で多くの炭素を蓄積



焼却



チップ・堆肥

剪定枝



新たな取組

炭化・貯留



堆肥



草生栽培



より多くの炭素を貯留



4パーミル・イニシアチブ

世界の土壌表層の炭素量を年間4パーミル(0.4%)増加させることで、大気中のCO2の増加量を相殺し、温暖化を抑制できるという考え方に基づく国際的な取り組み。

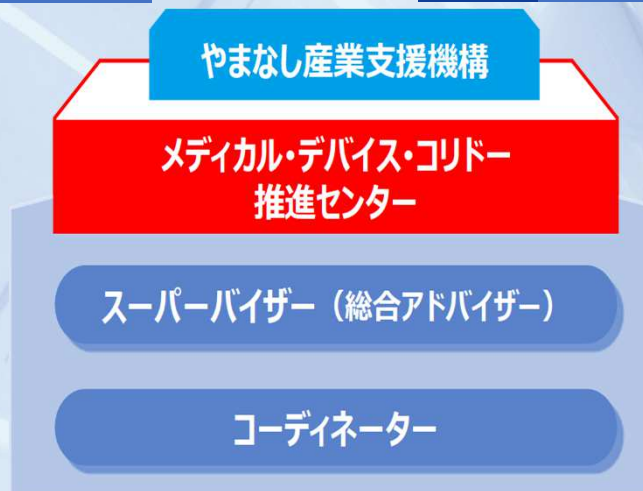
日本の都道府県で
山梨県が初めて参画

MEDICAL DEVICE CORRIDOR 推進計画

- ◆ 計画期間：令和2年度～令和4年度
- ◆ 本県機械電子産業の技術力等を活用し、医療機器関連産業が本県の基幹産業となるよう、県内企業の支援等を図る

1 支援体制の確立

- 「メディカル・デバイス・コリドー推進センター」を開所
- 「コーディネーター」による伴走支援を実施



2 企業支援策の充実・強化

- 医療機器開発に加え部品・材料供給も支援する等、企業状況に応じた支援を実施
- 法規制や認証取得に係る専門家を派遣

3 連携の促進

- 医療機器生産金額が全国最大の静岡県と連携協定締結
- 本県への総合特区拡大
- 医師会や公立・私立の病院との連携強化



4 人材の確保・育成、情報発信

- 山梨大学に県内の社会人技術者等を対象にした講座を開設
- HPを新設し、企業情報や取り組みをPR



水素・燃料電池に関する取り組み



- ◆ 水素・燃料電池は、国が進める「2050年カーボンニュートラル」実現の鍵となる技術
- ◆ 高水準な研究機関がフルラインナップで集積している本県の特長を生かし産業化を進展

研究・評価機関の集積

山梨大学水素・燃料電池ナノ材料研究センター



世界最高水準の燃料電池研究開発拠点

産業技術センター



NEDO事業により燃料電池評価・解析を実施

技術研究組合 FC-Cubic



我が国を代表する燃料電池の評価機関
R4年度に本県へ移転

HySUT 水素技術センター



我が国唯一の実環境下における水素ステーション技術開発施設

企業局 米倉山電力貯蔵技術研究サイト



P2Gシステムによりグリーン水素の製造・貯蔵・利用を行う実証研究

県施策の推進

1 参入企業への支援

研究成果の活用支援やビジネス交流の促進

- 山梨大学の研究成果の活用
- 研究会・技術提案会の実施
- 支援プロデューサーの設置



2 人材養成

第一線で活躍する講師陣によるハイレベルな講義・実習

- 山梨大学に県内の社会人技術者等を対象にした講座を開設



3 PR戦略

県内企業の技術を国内外にPR

- 国際水素・燃料電池展出展



新型コロナウイルス 感染症対策の3つの柱

新型コロナウイルス感染症対策の大きな3つの柱

感染拡大防止
と
医療提供体制
の整備

- 山梨県感染症対策センター(山梨県CDC)
- 病床・宿泊療養施設の確保
- PCR検査体制強化
- ワクチン接種の推進

etc...

県民生活に
与える
影響の最小化

- 生活困窮者支援
- コロナ対策機器整備・設備改修支援



やまなしグリーン・ゾーン
認証制度推進
etc...

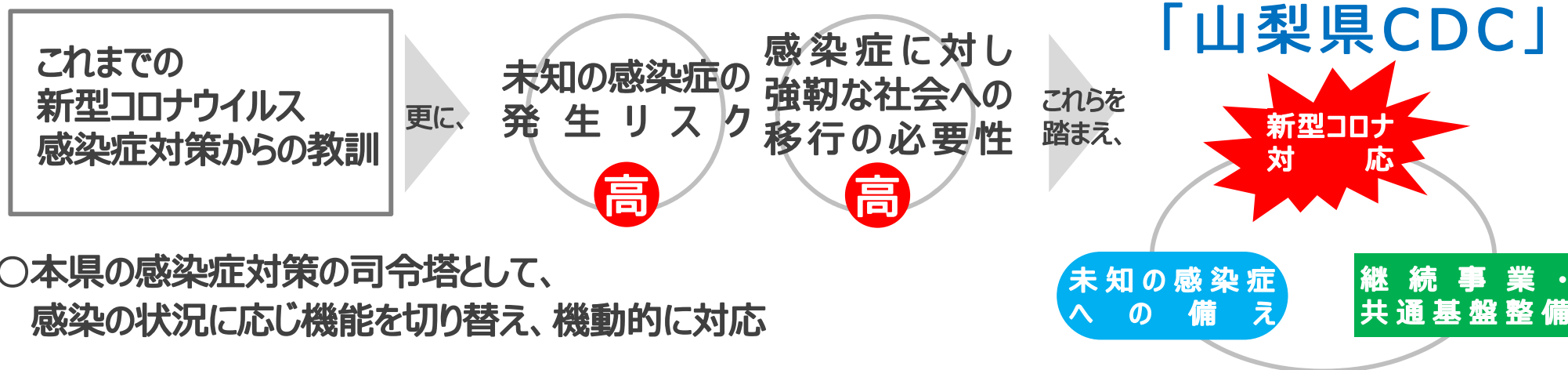
県内経済の
安定化・反転攻勢
に向けた対策

- 新たな融資制度による事業者の支援
- 二拠点居住推進
- 地場産品消費回復支援
- 飲食店等の需要喚起
- 観光の高付加価値化

etc...

山梨県感染症対策センター(山梨県CDC)

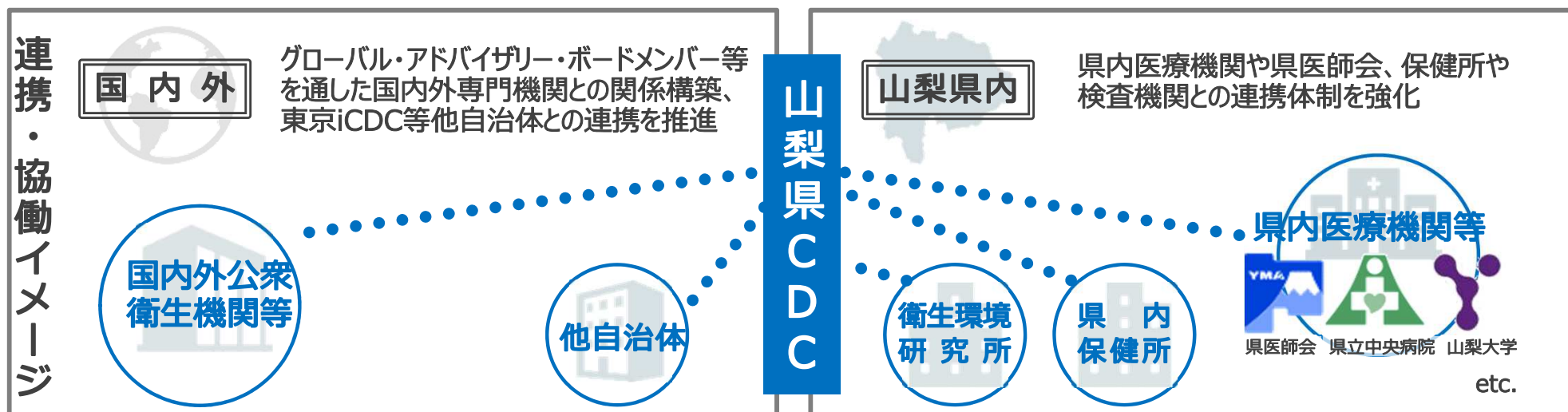
○専門的知見に裏付けられた感染症対策を継続的に担う新たな専門組織を設立



○本県の感染症対策の司令塔として、感染の状況に応じ機能を切り替え、機動的に対応

○迅速性・機動性確保のため感染症対策センターとしつつ、専門的知見や最新情報に基づいた判断を行うため、**県内・国内外専門家を起用**

○**国内外公衆衛生機関等**との関係構築や**県内医療機関等**との連携・協働により、対策を推進



やまなしグリーン・ゾーン構想

超感染症社会

～ 安全・安心な暮らしと経済活動の両立 ～

医療体制整備

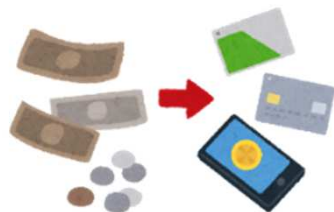


早期発見・早期治療

新しい生活様式への取り組み

新しい生活様式の下支え

- 遠隔教育、遠隔診療環境整備
- テレワーク導入支援
- キャッシュレス決済環境整備 etc...



安心・信頼の経済活動

やまなしグリーン・ゾーン認証制度

- 山梨県が専門家の監修を受け作成した基準
- 施設の現地調査を実施し、県自らが認証
- 利用者評価に基づく再調査等により、認証の質を担保

- 公的認証の全国先駆け
- リスクを取って県が安心を提供
- 認証施設に掲示されたマークは安心の目印



経済活動を止めずに、安心して生活できる感染症に強い社会